



埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

内科専門研修プログラム統括責任者
前淵 大輔

専門医の基本領域とサブスペシャリティ領域

(日本専門医機構の基本領域とサブスペシャリティ領域)

サブスペシャリティ領域

2018年までに日本専門医機構に認定された領域(研修計画は未認定)

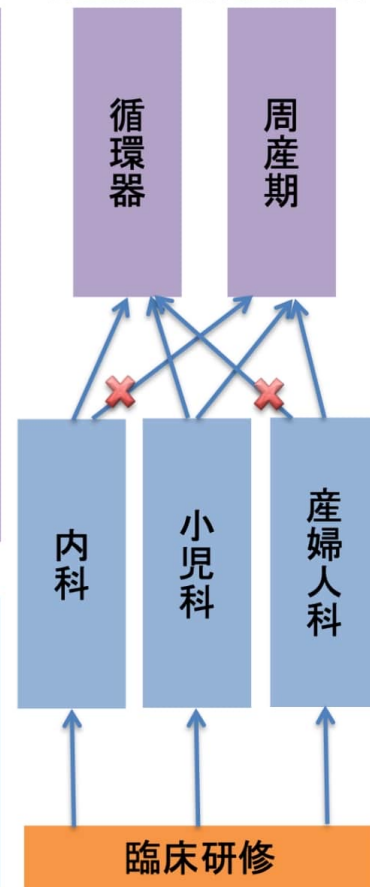
消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝、糖尿病、腎臓、肝臓、アレルギー、感染症、老年病、神経内科、リウマチ、消化器内視鏡、がん薬物療法、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、乳腺外科、内分泌外科、放射線治療、放射線診断(23診療科領域)

※サブスペシャリティ領域を運用するために必要な整備基準の作成や、研修施設などの認定などは日本専門医機構において十分に実施されていない。

基本領域 (19領域)

内科 小児科 皮膚科 精神科 外科 整形外科 産婦人科 眼科 耳鼻咽喉科 泌尿器科 脳神経外科 放射線科 麻酔科 病理 臨床検査 救急科 形成外科 リハビリテーション科 総合診療科

(二段階制に基づく、
専門研修の領域選択の例)



J-OSLER制度

『新・内科専門医試験』を受験するためには

医師免許取得年



2015年以前



2016年以降

- ① 認定内科医取得者は、病歴要約提出免除
- ② プログラムに乗らず、初期+後期を含め5年以上の内科研修
- ③ プログラムに参加

J-OSLER
3年以上のプログラム研修

プログラムに参加
(カリキュラム制への
対応あり)

認定内科医取得済



セルフトレーニング問題1回以上受講



病歴要約
29篇の提出



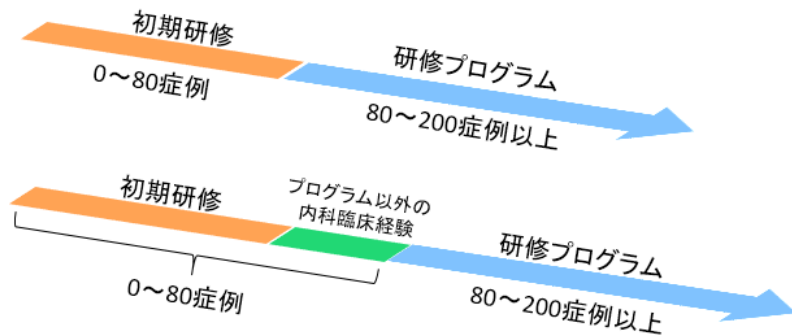
筆記試験
(2021年～)



専門医認定

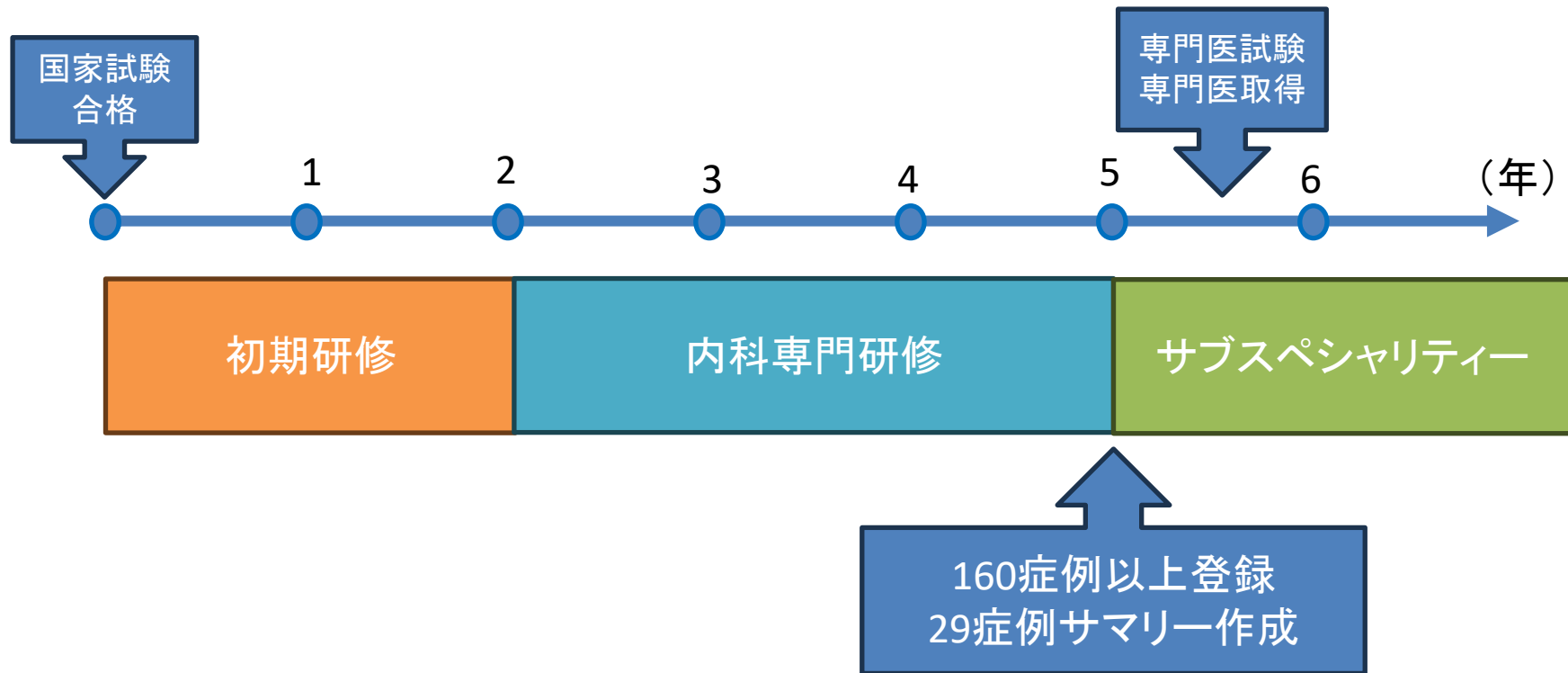
- 2015年以前に医師免許を取得した世代は、3パターンの中から新・内科専門医への道筋を選べます。
- ②の研修先は、研修プログラムの基幹施設、及び連携施設を指します。
- 総合内科専門医を取得済みの方は受験する必要はありません。

J-OSLERに登録できる症例数



初期研修修了後、研修プログラムに属さなかった期間に経験した内科症例でも、内科専門医としての経験症例に相応しいものであれば、遡及して登録できる。

内科系コース



| 内容 | 専攻医3年修了時 | 専攻医3年修了時 | 専攻医2年修了時 | 専攻医1年修了時 | ※5 病歴要約提出数 | |
|--------|------------------------|------------------------|-------------------|----------|------------------------|-----|
| | カリキュラムに示す疾患群 | 修了要件 | 経験目標 | 経験目標 | | |
| 分野 | 総合内科Ⅰ(一般) | 1 | 1※2 | 1 | 2 | |
| | 総合内科Ⅱ(高齢者) | 1 | 1※2 | 1 | | |
| | 総合内科Ⅲ(腫瘍) | 1 | 1※2 | 1 | | |
| | 消化器 | 9 | 5以上※1※2 | 5以上※1 | | 3※1 |
| | 循環器 | 10 | 5以上※2 | 5以上 | | 3 |
| | 内分泌 | 4 | 2以上※2 | 2以上 | | 3※4 |
| | 代謝 | 5 | 3以上※2 | 3以上 | | |
| | 腎臓 | 7 | 4以上※2 | 4以上 | | 2 |
| | 呼吸器 | 8 | 4以上※2 | 4以上 | | 3 |
| | 血液 | 3 | 2以上※2 | 2以上 | | 2 |
| | 神経 | 9 | 5以上※2 | 5以上 | | 2 |
| | アレルギー | 2 | 1以上※2 | 1以上 | | 1 |
| | 膠原病 | 2 | 1以上※2 | 1以上 | | 1 |
| | 感染症 | 4 | 2以上※2 | 2以上 | | 2 |
| | 救急 | 4 | 4※2 | 4 | | 2 |
| 外科紹介症例 | | | | | 2 | |
| 剖検症例 | | | | | 1 | |
| 合計※5 | 70疾患群 | 56疾患群 (任意選択含む) | 45疾患群 (任意選択含む) | 20疾患群 | 29症例 (外来は最大7)※ 3 | |
| 症例数※5 | 200以上 (外来は最大 20) | 160以上 (外来は最大 16) | 120以上 | 60以上 | | |

内科専門研修とサブスペ専門研修の連動研修(並行研修)の概念図



開始・終了時期、継続性は問わない

開始・終了時期、継続性は問わない

※サブスペシャリティ研修の開始時期は自由

下記以外の分野

循環器内科
消化器内科

出願要件

- 本会に入会しており、会費滞納なく、会員を継続していること
- 受験する年度の直近5年間に、セルフトレーニング問題（60%以上の正解率）を1回以上、取得していること
※ 2024年度に受験する場合、2023年、2022年、2021年、2020年、2019年
- 5年間以上の内科臨床研修（初期臨床研修2年間、後期内科臨床研修3年間以上を含む）の実績があること
※ 新しい内科専門医制度の研修プログラムにおける基幹施設・連携施設での内科研修であること
※ 特別連携施設での内科研修は最長1年間まで認めるが、「研修証明書」の提出が必要
- 上記の内科臨床研修において受け持った症例より、病歴要約29症例を提出できること
※ 退院時サマリー（外来症例の場合にはカルテ）のコピーのアップロードが必要
※ 外科紹介症例の場合は手術記録のコピー、剖検症例の場合は剖検報告書のコピーのアップロードが必要
- 「学会」または「論文」として発表した臨床研究（基礎的な研究は除く）、
またはfirst authorで報告した症例報告のいずれかで、計2件の業績があること
- JMECCの受講実績があること

プログラム例

1～2年次(新久喜総合病院)

| |
|---------|
| 内科 |
| 循環器内科 |
| 呼吸器内科 |
| 神経内科 |
| 代謝糖尿病内科 |



| |
|---------|
| 内科 |
| 循環器内科 |
| 呼吸器内科 |
| 神経内科 |
| 代謝糖尿病内科 |



3年次連携施設

| |
|-----------------------------------|
| 新久喜総合病院 |
| 東京品川病院 |
| 所沢明生病院 |
| 狭山中央病院 |
| けやき内科、宮本町内科クリニック、 上新井くろかわクリニック |



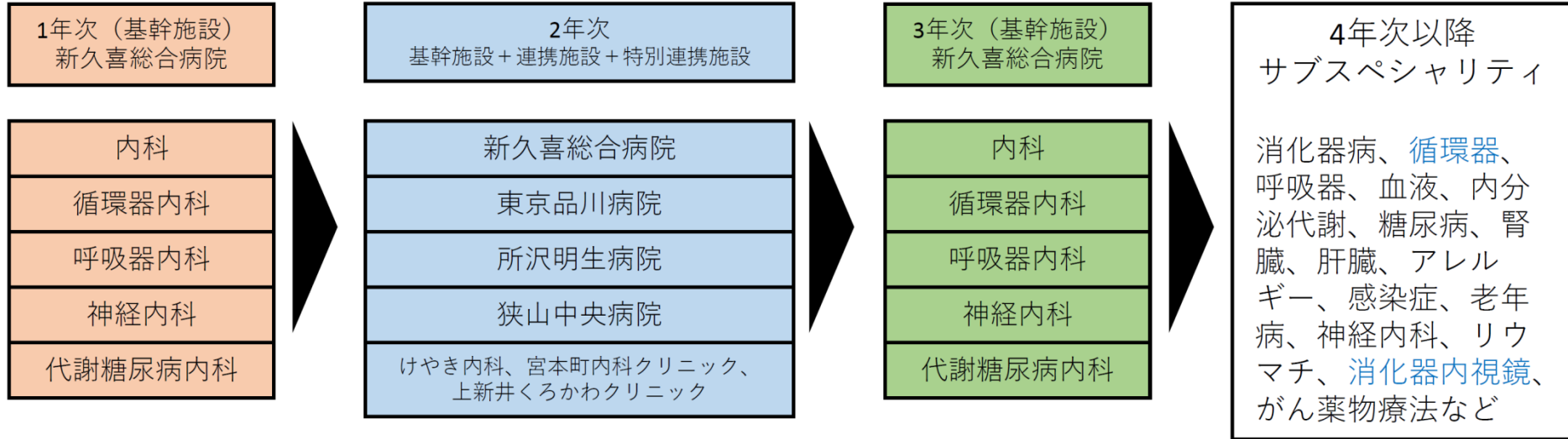
4年次以降 サブスペシャリティ

消化器病、循環器、呼吸器、血液、内分泌代謝、糖尿病、腎臓、肝臓、アレルギー、感染症、老年病、神経内科、リウマチ、消化器内視鏡、がん薬物療法など

- サブスペシャリティを先に決定し、新久喜総合病院での研修中はサブスペ科で集中的に研修することも可能。
- ローテーションしながら複数科を回ることも可能。

プログラム例

(例) 新久喜総合病院内科専門研修プログラムローテ



- サブスペシャリティを先に決定し、新久喜総合病院での研修中はサブスペ科で集中的に研修することも可能。
- ローテーションしながら複数科を回ることも可能。

当院の特徴



| | | |
|--|--|----------------------------------|
|  | | 【圏域の基本指標】 [県値] |
| | | 人口総数 659,452 人 |
| | | 人口増加率 (H17～H22) ▲ 0.5% [2.0%] |
| | | 年齢3区分別人口 |
| | | 0～14歳 82,153 人 (12.5%) [13.3%] |
| | | 15～64歳 431,971 人 (65.5%) [66.3%] |
| | | 65歳～ 144,730 人 (22.0%) [20.4%] |
| | | 出生率 (人口千対) 6.7 [8.2] |
| | | 死亡率 (人口千対) 9.2 [8.1] |
| 保 健 所 | 加須保健所・幸手保健所 | |
| 圏 域 (市町村) | 行田市・加須市・羽生市 久喜市・蓮田市・幸手市・白岡市・宮代町・杉戸町 | |

当院は、埼玉県北東部の利根医療圏に位置する総合病院です。
利根医療圏は病院数が少なく、地域にとってはなくてはならない病院
になっています。

当院は救急医療に力を入れており、年間5000台以上の救急車を受け
入れています。

当院について



- 院長 志田晴彦

診療科：総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、
消化器内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、脳神経
内科、外科、消化器外科、肛門外科、呼吸器外科、
整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器
科、婦人科、乳腺外科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリ
テーション科、放射線科、麻酔科、救急科、心臓
血管外科、病理診断科、小児外科、リウマチ科

各種認定・指定

教育研修病院認定施設（新専門医制度）

- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院（専門研修基幹施設）
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設（専門研修基幹施設）
- ・日本形成外科学会認定施設（専門研修連携施設）
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設（専門医養成プログラム連携施設）
- ・日本脳神経外科学会（専門研修連携施設）
- ・日本救急医学会認定専門医指定施設（専門研修連携施設）
- ・日本麻酔科学会認定研修施設（専門研修連携施設）
- ・日本医学放射線学会認定修練機関（専門研修連携施設）
- ・日本消化器外科学会専門医制度認定施設
- ・日本呼吸器外科学会専門研修連携施設
- ・三学会構成心臓血管外科（専門医認定基幹施設）
- ・循環器専門医研修施設（研修施設）
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本がん治療認定医機構研修施設
- ・日本腎臓学会認定教育施設
- ・日本乳癌学会専門医制度関連施設
- ・日本大腸肛門病学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導連携施設
- ・日本腹部救急医学会認定施設
- ・再建マイクロサージャリー
- ・日本病院総合診療医学会認定施設
- ・心血管インターベンション治療学会研修関連施設
- ・日本肝胆膵外科高度技能専門医修練施設
- ・日本泌尿器学会専門医教育施設拠点教育施設
- ・日本外科感染症学会周術期感染管理医教育施設

各種指定

- ・救急告示病院
- ・災害拠点病院
- ・地域医療支援病院
- ・埼玉県がん診療指定病院
- ・埼玉県立がんセンター医療連携施設
- ・輪番制2次救急病院
- ・労災指定病院
- ・生活保護指定病院
- ・結核予防指定病院
- ・厚生医療指定病院
- ・原爆医療指定病院
- ・戦傷病者特別援護法指定病院
- ・公害健康被害補償法指定病院
- ・難病指定医療機関
- ・埼玉県DMAT指定医療機関
- ・日本医療機能評価機構認定病院

新久喜総合病院 内科専攻医プログラム

当院の内科専門医プログラムについて

募集人員：5名/年

専門プログラム

総合内科

循環器内科（サブスペシャリティ）

消化器内科（サブスペシャリティ）

内科専門医プログラムについて

新久喜総合病院内科専門研修プログラム

基幹施設 : 新久喜総合病院

連携施設 : 東京品川病院、新小文字病院、福岡和白病院、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉医科大学総合医療センター、JHCO東京新宿メディカルセンター

特別連携施設 : 所沢明生病院、狭山中央病院

けやき内科、宮本町内科クリニック、上新井くろかわクリニック

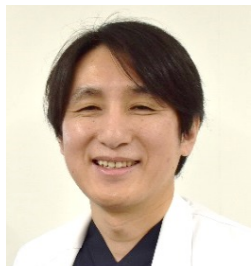
次年度以降連携予定 : 済生会加須病院など

※基幹施設にて最低1年間以上、連携施設・特別連携施設で1年間以上の研修を必須とする。

特別連携施設での研修は1年間を超えないものとする。

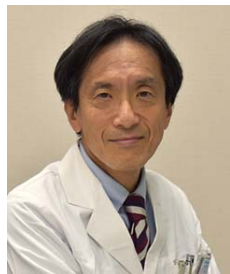
新久喜総合病院内科専門研修プログラム統括責任者

プログラム統括責任者



前淵大輔（鹿児島大学卒）
循環器内科部長
内科認定医・総合内科専門医
循環器学会専門医
老年病学会専門医・指導医
日本心血管インターベンション学会認定医・専門医
日本医師会認定産業医
日本老年医学会高齢者栄養療法認定医
心エコー図学会SHD認証医

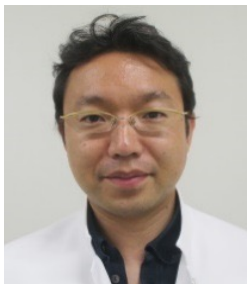
新久喜総合病院指導医



前谷容（東邦大学卒）
消化器内科部長兼内視鏡センター長
総合内科専門医・指導医
消化器病学会専門医・指導医
内視鏡学会専門医・指導医
胆道学会認定指導医
腹部救急医学会認定医・指導医
がん治療認定医
PEG学会・在宅医療学会認定胃瘻造設者



竹之下拓（群馬大学卒）
神経内科部長
内科認定医
神経内科専門医・指導医
脳卒中専門医
日本リウマチ財団リウマチ登録医
日本病院総合診療医学会認定医
免疫療法認定医
日本医師会認定産業医



戸頃康男（杏林大学卒）
循環器内科部長



橋本治（信州大学卒）
循環器内科医長
総合内科専門医
循環器内科専門医
日本心血管インターベンション学会認定医・専門医
不整脈学会専門医



佐山遥平（帝京大学卒）
代謝糖尿病内科
内科専門医
内分泌糖尿病専門医



金子美和（東邦大学卒）
腎臓内科
内科認定医

総合診療内科



総合診療内科では、さまざまな専門を持つ指導医による教育のもと、主治医として患者を担当し、幅広い知識や診療のスキルを習得していきます。

当院の神経内科や血液内科、膠原病内科、代謝内分泌内科、呼吸器内科、腎臓内科と連携して専門的な疾患も診療を行っており、総合的な診断治療能力を身に付けていきます。

総合診療内科の業務内容

1. **総合診療内科外来**：初診患者や近医から原因が特定できずに紹介していただいた患者の外来診療を引き受けています。
2. **病棟業務**：入院が必要な外来患者や、救急でERに搬送され、内科治療が必要な入院患者を引き受けています。
3. **救急業務**：研修医と一緒にERで重症患者の診療に当たります。
4. **研修医教育**：屋根瓦式で研修医教育にも携わっています。
5. **手技**：中心静脈確保や胸腔、腹腔穿刺、腰椎穿刺など一般的な内科的手技の他、生理検査や内視鏡検査、カテーテル検査など希望する検査室で検査にも携わることができます。

プログラム例

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|----|-----------|-------|------|------|-------|
| 午前 | 外来 | 病棟業務 | 救急外来 | 外来 | 病棟業務 |
| 午後 | 内科カンファレンス | 内視鏡検査 | 病棟業務 | 病棟業務 | エコー検査 |

毎朝研修医を対象に行われている救急カンファや午後の病棟カンファに加えて、毎週内科カンファレンス、腎臓内科カンファレンス、呼吸器内科カンファレンスなどの多彩なカンファレンスが行われています。また、今後は近隣の大学病院などの総合内科カンファレンスへの参加も検討しております。

総合内科専攻医の進路

- 当院総合内科では、幅広い患者層を対象とし、開業などを目指した地域医療に貢献できる医師や研修医などの教育ができる医師を育てることを目標としています。
- 当院総合内科卒業後は、総合内科専門医として当院および各病院で活躍したり、大学病院へ入局したりすることができます。
- 当院内科に所属する神経内科や血液内科、膠原病内科、代謝内分泌内科、呼吸器内科、腎臓内科専門医に従事し、それぞれの専門に進むことも可能です。
- また、プログラムの途中で循環器内科や消化器内科のプログラムに変更することが可能です。

当院における症例数

当プログラム症例数（2020年）

| 2018年度 | 総合内科 | 消化器 | 循環器 | 内分泌 | 代謝 | 腎臓 | 呼吸器 | 血液 | 神経 | アレルギー | 膠原病 | 感染症 | 救急 |
|---------|-------|-------|-------|-----|------|------|------|-----|------|-------|-----|-----|------|
| 年間入院症例数 | 3801 | 1440 | 1160 | 86 | 233 | 427 | 551 | 140 | 635 | 77 | 48 | 163 | 1164 |
| 年間外来症例数 | 13366 | 13868 | 13664 | 814 | 4146 | 6966 | 5480 | 607 | 6692 | 215 | 182 | 205 | 5911 |
| 疾患群の充足度 | 3/3 | 9/9 | 10/10 | 1/4 | 5/5 | 7/7 | 8/8 | 3/3 | 9/9 | 2/2 | 2/2 | 4/4 | 4/4 |

当プログラムでの剖検数は2018年（6件）、2019年（17件）、2020年（10件）です。

当院の実績

| 2020年度 | 循環器内科 | 消化器内科 | 呼吸器内科 | 神経内科 | 代謝糖尿病内科 |
|--------|-------|-------|-------|------|---------|
| 初診 | 614 | 762 | 200 | 206 | 79 |
| 外来患者数 | 16064 | 6719 | 2007 | 4143 | 4767 |
| 入院患者数 | 1381 | 468 | 87 | 137 | 99 |

| 2021年度 | 循環器内科 | 消化器内科 | 呼吸器内科 | 神経内科 | 代謝糖尿病内科 |
|--------|-------|-------|-------|------|---------|
| 初診 | 649 | 949 | 66 | 193 | 69 |
| 外来患者数 | 16442 | 8271 | 1366 | 4155 | 4967 |
| 入院患者数 | 1629 | 823 | 246 | 141 | 188 |

2021年度

救急車搬入件数：5374件（うち内科症例の割合約30%）

救急車搬入での入院患者：2906件（うち内科症例の割合779件）

手技件数

心カテ

| 2020年度 | 合計 | 平均 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|-------------|-----------|-----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 心カテ | 1044 | 87 | 79 | 80 | 114 | 108 | 87 | 95 | 93 | 69 | 97 | 95 | 50 | 77 |
| 内) PCI | 486 | 41 | 47 | 31 | 49 | 48 | 49 | 48 | 45 | 41 | 44 | 33 | 20 | 31 |
| 2021年度 | 合計 | 平均 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 心カテ | 1035 | 86 | 102 | 84 | 104 | 98 | 72 | 86 | 93 | 88 | 83 | 89 | 64 | 72 |
| 内) PCI | 466 | 39 | 42 | 42 | 44 | 41 | 31 | 43 | 35 | 39 | 38 | 46 | 29 | 36 |

内視鏡

| 2020年度 | 合計 | 平均 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----------|-------------|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| G I F | 3616 | 301 | 146 | 143 | 320 | 366 | 328 | 429 | 398 | 369 | 369 | 356 | 230 | 162 |
| C F | 1247 | 104 | 95 | 71 | 96 | 116 | 88 | 113 | 94 | 107 | 142 | 130 | 103 | 92 |
| B F | 5 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| E R C P | 201 | 17 | 24 | 23 | 25 | 17 | 13 | 18 | 12 | 14 | 15 | 17 | 14 | 9 |
| ESD | 55 | 5 | 6 | 7 | 2 | 3 | 2 | 5 | 3 | 4 | 7 | 8 | 3 | 5 |
| EMR・ポリペク | 389 | 32 | 20 | 22 | 25 | 22 | 18 | 27 | 47 | 42 | 60 | 43 | 27 | 36 |
| 合計 | 5513 | 459 | 291 | 267 | 469 | 524 | 449 | 592 | 554 | 537 | 593 | 556 | 377 | 304 |
| 2021年度 | 合計 | 平均 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| G I F | 5323 | 444 | 171 | 399 | 505 | 448 | 468 | 500 | 529 | 488 | 503 | 440 | 406 | 466 |
| C F | 1333 | 111 | 93 | 102 | 103 | 95 | 124 | 117 | 119 | 100 | 135 | 116 | 101 | 128 |
| B F | 19 | 2 | 0 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 3 | 2 | 0 | 1 |
| E R C P | 229 | 19 | 22 | 20 | 29 | 23 | 22 | 21 | 15 | 15 | 25 | 21 | 9 | 7 |
| ESD | 53 | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 | 2 | 3 | 4 | 3 | 8 | 6 | 7 | 6 |
| EMR・ポリペク | 559 | 47 | 50 | 28 | 31 | 37 | 45 | 53 | 53 | 52 | 55 | 51 | 44 | 60 |
| 合計 | 7516 | 626 | 339 | 555 | 673 | 609 | 663 | 695 | 721 | 661 | 729 | 636 | 567 | 668 |

募集要項

(ホームページより)

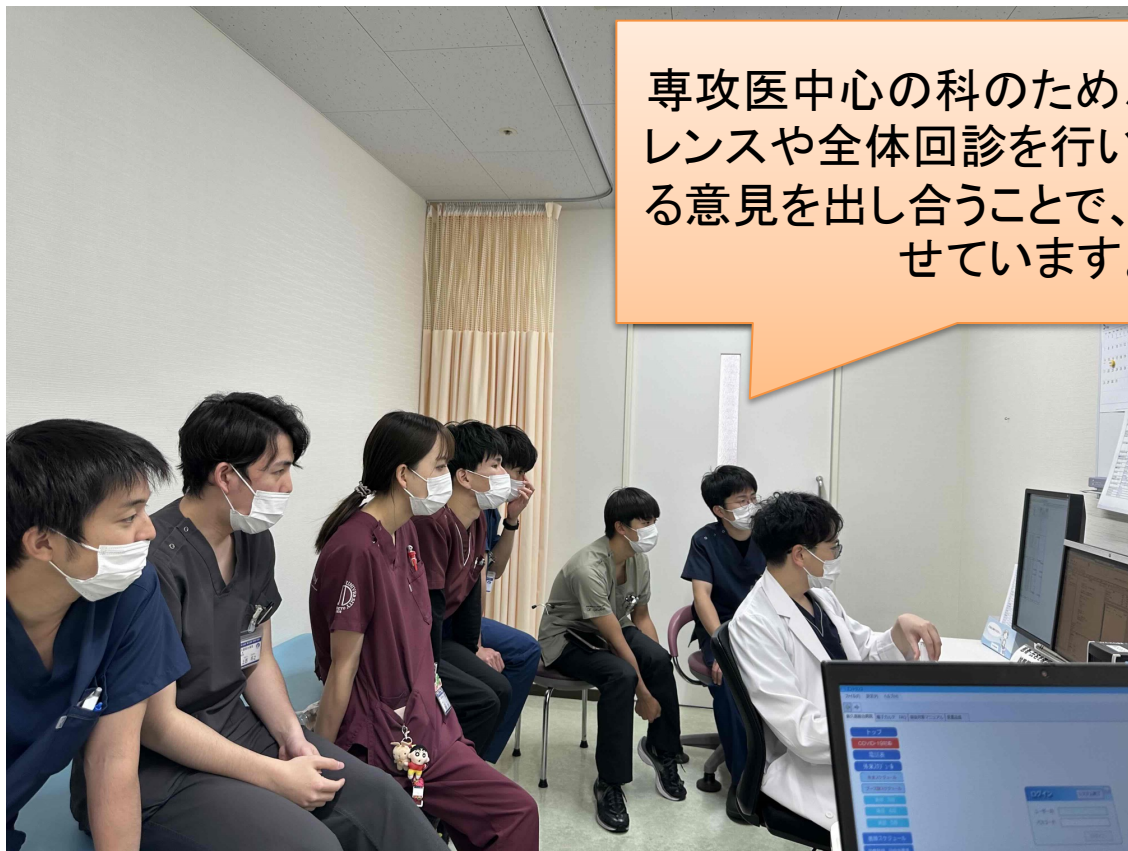
| | |
|------|--|
| 研修期間 | 3年 |
| 募集人数 | 3名 |
| 身分 | 常勤（専攻医） |
| 給与 | 3年目：1000万（当直、時間外手当等込み） 4年目：1050万（当直、時間外手当等込み） 5年目：1100万（当直、時間外手当等込み） |

| | |
|---------|--|
| 当直 | 4回/月 |
| 住宅 | 病院による借上式（当院規定による） 家賃の半額を住宅手当として病院補助 |
| その他 | 学会参加費用の病院補助あり 入職に伴う引越費用は病院負担 海外研修制度あり 6年目以降の国内留学制度あり |
| 応募資格 | 2年間の初期臨床研修修了見込みまたは修了したもの |
| 病院見学 | 随時 ※下記、お問い合わせ先へご連絡ください。 |
| 選考方法 | 書類審査 面接 |
| 採用内定 | 選考後ご本人へ通知 |
| 応募書類 | 履歴書（写真付） 医師免許証（写し） 臨床研修修了見込み証明書または臨床研修修了証 |
| お問い合わせ先 | 〒346-8530 埼玉県久喜市上早見418-1 新久喜総合病院 総務課 専門研修担当 TEL:0480-26-0033 E-mail： kukijinji@shinkuki-hp.jp |

当院の研修プログラムの特徴

- 2021年度から新設されたため、各専攻医ごとの個別のプログラムを提供可能
- 救急患者が多く、症例も豊富なため、研修中の必要症例は十分持つことができる
- 特に消化器内科と循環器内科は症例数が多いため多くの手技数を経験することができる
- プログラム終了後グループ病院に残ることも可能

カンファレンス風景



専攻医中心の科のため、毎日カンファレンスや全体回診を行い、疾患に対する意見を出し合うことで、知識を集積させています。

仕事中の風景



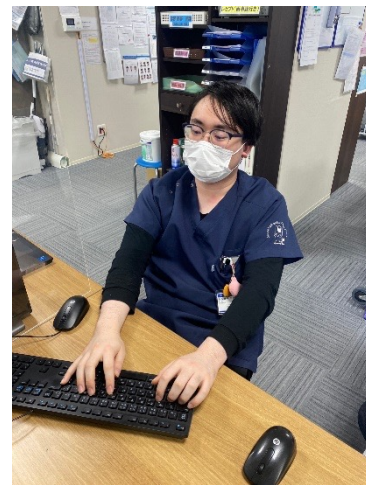
外来カンファレンスの風景



ERでの風景

消化器内科 (R1群馬大学卒)

週に1回の外来(去年は総合内科、今年は消化器内科)および救急当番、それ以外は消化器内科に所属し病棟管理や内視鏡検査などを行っています。受け持ち患者は10人前後であり、消化器疾患が中心ではありますが、肺炎や尿路感染症などのコモンな疾患や重症敗血症やDKA/HHSなどの重症な疾患など幅広く担当し、2年間で内科専門医に必要な症例は経験できます。当院の特徴としては救急からの症例が多く臨床現場に合わせた判断や治療が求められる場合が多いです。メリットとしては自分の対応できる範囲が広がり、現在は自由に様々なことを決められています。デメリットとしては、症例が多い分負担が大きいことですが、自分としてはたくさんの経験ができたので良かったと思っています。

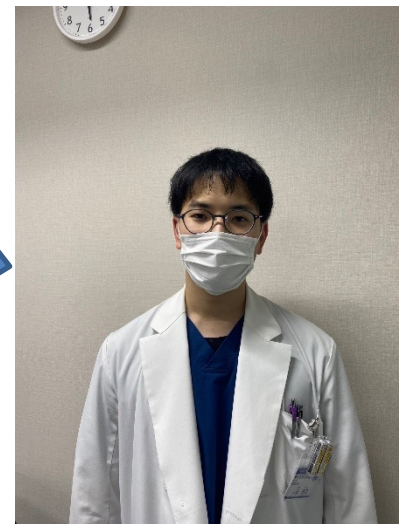


総合内科のスケジュール (例)

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 8:30～ | 救急カンファ | 救急カンファ | 救急カンファ | 救急カンファ | 救急カンファ |
| 9:00～ | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 |
| 9:30～ | 病棟業務 | 総合内科外来 | 内視鏡検査 | 総合内科外来 | 病棟業務 |
| 12:30～ | 外来カンファ | 外来カンファ | 外来カンファ | 外来カンファ | 外来カンファ |
| 13:00～ | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 | 病棟業務 | ER当番 |
| 16:00～ | 病棟回診 | 病棟回診 | 内科カンファ | 病棟回診 | 病棟回診 |
| 17:00～ | | | 病棟回診 | | |

総合内科 (R2秋田大学卒)

今年は、週2回総合内科外来をして、週1回内視鏡検査を行い、週1回救急外来をしています。受け持ち患者は10人程度であり、肺炎、尿路感染などの一般的な疾患から間質性肺炎やギランバレーなど専門疾患なども担当できました。当院のメリットは、当院の特徴として様々な疾患が総合内科に集まってくることで、内科疾患はメジャーなものからマイナーなものまで一通り主治医として担当できることです。また、各科の垣根が低く、困ったことがあればすぐに相談できる場所もメリットです。一方でデメリットとしては、当直や救急当番など忙しいところですが、患者を見つけることができる場としてメリットととらえています。



消化器内科 (R2東邦大学卒)

私は、週に1回総合内科外来をして、週に3回上下部内視鏡検査、週1回救急外来を担当しています。受け持ち患者は10人程度で、消化器疾患以外にも肺炎や尿路感染などのcommon diseaseのほか、膠原病疾患なども担当しています。当院のメリットは、手技が多いことですが、入院患者も一定数いるため、患者管理の面においても成長を実感できるところです。当直や救急当番など忙しい日もありますが、その分消化管出血等の救急対応も経験することができ、充実した毎日を送っています。



循環器内科 (R2年島根大学卒)



週に1回総合内科外来および日中の救急外来当番を行い、それ以外は循環器疾患の病棟管理及びカテーテル検査・治療を行っています。受け持ち患者は10人程度であり、心不全や急性冠症候群のみでなく、間質性肺炎や敗血症、低体温など幅広く見えています。当科の特徴として、夜間・休日のオンコールとして呼ばれることが多く、忙しい日々を送っていますが、救急の現場で自分の判断で動くことが要求され、経験として申し分ないと考えています。

循環期内科のスケジュール (例)

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|--------|------------|-------------|---------|---------|---------|
| 8:30～ | 救急カンファ | 救急カンファ | 救急カンファ | 救急カンファ | 救急カンファ |
| 9:00～ | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 | 病棟回診 |
| 9:30～ | 総合内科外来 | カテーテル検査 | カテーテル検査 | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 12:30～ | 外来カンファ | 外来カンファ | 外来カンファ | 外来カンファ | 外来カンファ |
| 13:00～ | 病棟業務 | 病棟業務 | ER当番 | 病棟業務 | 病棟業務 |
| 16:00～ | ハートチームカンファ | 心臓外科内科カンファ | 内科カンファ | | |
| 17:00～ | 循環期カンファ | 循環期カンファ・抄読会 | 循環期カンファ | 循環期カンファ | 循環期カンファ |